

▼ビジクリア配合錠 [内]

【重要度】★★【透析患者に投与禁忌】 【一般製剤名】リン酸二水素ナトリウム一水和物+無水リン酸水素二ナトリウム sodium phosphate (monobasic monohydrate +dibasic anhydrous) 【分類】経口腸管洗浄剤

【単位】▼錠

【常用量】1回あたり5錠ずつ、約200mLの水とともに15分毎に計10回(計50錠)経口投与

【用法】大腸内視鏡検査開始の4~6時間前から経口投与■服用に要する時間は2.5hr■ミネラルウォーター及びお茶での服用は可

【透析患者への投与方法】リン負荷になるため禁忌(1)

【保存期 CKD患者への投与方法】重篤な腎障害患者にはリン負荷になるため禁忌(1) GFR 60未満では禁忌(KDIGOガイドライン2013)

【特徴】大腸内視鏡検査の前処置における腸管内容物の排除に適用されるリン酸水素ナトリウム配合剤。

【主な副作用・毒性】急性腎不全、急性リン酸腎症(腎石灰沈着症)、悪心・嘔心、低K血症、血清リン低下・上昇、低Ca血症など

【tmax】血清リン濃度は服用終了後にCmaxに達する[臨床試験では約2倍に上昇](1)

【備考】高血圧症のある高齢者には急性腎不全、急性リン酸腎症(腎石灰沈着症)等が発現するおそれがあるため禁忌、高齢者、循環血液量の減少・腎疾患・活動期の
大腸炎のある患者、腎血流量・腎機能に影響を及ぼす薬剤(利尿剤、アンジオテンシン変換酵素阻害薬、アンジオテンシン受容体拮抗薬、NSAIDs等)を使用してい
る患者には慎重投与(1) 重篤な不整脈やけいれん等の有害事象が発生するおそれがあるのので心疾患、腎疾患、電解質異常(脱水、又は利尿剤使用に伴う二次性電解質
異常など)を疑わせる所見のないこと、電解質濃度に影響を及ぼし得る薬剤を服用中でないこと、QT延長をきたすおそれのある薬剤を服用中でないこと、血清電解質
濃度が正常値であることを確認する(1) 本剤の7日間以内の再投与は行わない(1)

【更新日】20180307

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、
直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。